

「第 5 次岡谷市総合計画」策定に係る市民インタビュー 結果

①結婚に関すること

- ・できれば結婚したい
- ・20 代前半は結婚を意識していたが、30 を過ぎると「しなくてもいいかな」と思う。結婚を意識するタイミングも、男性と異なる。
- ・自分のやりたいことができれば、独身でもいいかなと思う。
- ・男性も 20 代の人には結婚を考えているが、30 を過ぎると結婚を意識しなくなる。
- ・男性の場合、結婚したい人としたくない人の 2 極化が顕著
- ・出産を考えると、女性の場合は身体的なりミットがあるため、結婚に対する意識やタイミングが男性と異なる。

②子育て支援に関すること

- ・周りに妊娠・出産を経験している人が多いので、心強い。特に困っていることもなく、楽しく子育てをしている。
- ・特に困っていることはなく、楽しく子育てしている。
- ・子育てにかかる助成金などを増やしてほしい。出産一時金は 42 万円では足りない。
- ・子育てにかかる助成金などを増やしてほしい。医療費無料(500 円の負担をなくす)、住宅補助など。お金がかからなければ、もっと産みたい。
- ・歩けないけど動きたい時期なので、遊び場所に困っている。
- ・1 対 1 で子どもと接しているとたまに気が滅入るときがあるので、相談できる人がいてほしい。子どもを連れてゆっくりできるようなカフェなどがほしい。
- ・前職は松本市、仕事は続けず、しっかり出産・子育てをして仕事に戻りたいと思っている。
- ・周りでは、子どもは 2 人という友達が多い。お金がかかるからという理由より、自分たち親の兄弟姉妹と同じ構成になることが多いように思う。
- ・スワンドームにて託児付フィットネスがあり、友人が多く参加。息抜きしたいが、育休中にそういったことをすることが悪いイメージあり。
- ・夫は、朝食と昼の弁当を作ってくれ、育児へ協力してくれる。
- ・北信から嫁いだので、友達が少ない。こどものくには友人を作るような雰囲気ではないので、交流できるようなイベントをしてもらえるとありがたい。
- ・小さな子どもが遊べる場は少ないと思う。増えているとは思いますが。
- ・岡谷市は、子育てしやすいと感じている。
- ・小さな子どもでも遊ばせてあげられる場を増やして欲しい。
- ・外出は、子どもが基準で行き先が決まる。食事などでも量があるか? など、そういった環境を増やしてくれればありがたい。

- ・小さい子どもが交流できるようなイベントがあるとうれしい。
- ・近くに協力者がいるとありがたい。嫁ぎ先だと頼みにくい。
- ・旦那の仕事の都合で、1年前に横浜市から転入。両親が近所にいないため、いつも一人で子育てしている。1時間～2時間など、子どもを一時的に預かってもらえるサービスがあるとうれしい。
- ・子育てしやすい環境であれば、子どもは増えると思う。
- ・出産後、産婦人科への通院がなくなると、気軽に相談できる場所や人がなくなる。出産後も気軽に相談できる場所(人)があるとありがたい。
- ・子どもは、2人は欲しいと思っているが、家計や旦那の帰宅時間などを考えると、現時点では難しい。
- ・離乳食教室について、子どもの生れ月で参加時期が決まっているが、教室が開催される時期が、子どもの離乳食を始める時期と重なるため、もう少し前倒しして開催してもらえると、不安解消につながる。
- ・2人目、3人目は、教育費などのことを考えると二の足を踏まざるを得ない。
- ・保育料や病児・病後児保育などの面で、経済的支援がさらに充実することを期待したい。
- ・通常は、母親が一人で子育てしており、自分達の両親とも離れて生活しているため、母親は大変だと思う。(回答者/父親)
- ・収入は自分の稼ぎだけ。子どもは、最低2人は欲しいと思っているが、経済的な面で不安である。子育て費用に関わる経済的支援がさらに充実すればうれしい。(回答/父親)
- ・1人目の子どものため、すべてのことが不安。知人・友人が少なく、気軽に相談できる人がいない。子育て環境としては、子育てしやすい環境である。
- ・目下、離乳食で奮闘中。・離乳食の相談や講座などがもっとあればうれしい。
- ・アパートに暮らしているが、子どもの夜泣きで近所から苦情を言われることもある。子育て世帯だけが入居できるアパートなどあるとうれしい。
- ・出産後の育児相談はありがたいが、子どもの食事やお昼寝のタイミングなどの点から、自宅に来てもらえるとうれしい。
- ・子どもは2人欲しいと思うが、子育て費用を考えると、なかなかふみきれない。
- ・ベビーベットやベビーカーなど、一時期しか使用しないものなどのレンタルを行政サービスとして提供してもらえるとありがたい。(民間のレンタルサービスあるが、新品購入と価格が変わらない。子育てが終わった人からベビー用品を寄附してもらい、それをレンタルしてもらえればありがたい)
- ・母親同士の横のつながりが大切だと思う。諏訪市にも似た施設があるので利用しているが、そちらは割りと子どもの面倒をみってくれるので、その間にお母さん同士でお話できるのが良い。
- ・自身が高齢出産だったので、不妊治療の助成金の年齢制限をもっと上げてほしいのではと思う。

- ・働いている娘(お母さん)の代わりに孫の面倒をみている。こどものくには遊具がたくさんあるのでよく来ている。諏訪湖ハイツもよく利用している。公園もあるし、子育てに関しての施設は十分充実しているように思う。
- ・複数人子どもを持つと、PTAなどで役員が回ってきそうで、そうしたことも負担だなど思う。お母さん同士でもそういった話はよく出てきている。
- ・買い物に行けなくて困っている。子どもの面倒をみながらの買い物は大変。一時保育なども現在は親の通院など一定の理由がないと利用できないため、「親のリフレッシュ」目的で使えるとありがたい。
- ・湊5丁目にいるが、2歳向けのちょっとした遊具がない。
- ・小さな子どもが安全して遊べるようなつくりのものがない。湖畔公園などはストンと落ちてしまいそうで、2歳には危険。
- ・こどものくには色々と相談もすることができて、利用者との交流もできるのでありがたい。
- ・周りに妊娠・出産を経験している人が多いので、心強い。特に困っていることもなく、楽しく子育てをしている。
- ・都内では核家族化が進んでいて、子育ての上で不安が大きかったが、夫の地元でもあり多世代で住んでいるために安心感があって良いと思っている。家族の繋がりや、地域の人の繋がりには残して欲しい。
- ・家から歩いていける距離に、誰でも行けて、フットサルやバスケットもできる、開放的な公園があると良いと思う。現在の公園は、狭かったり公園に行くまでの道が危険だったり、子どもだけでは行かせられない。街なかに公園が欲しい。
- ・今後は人も減るので、共働きや役員、部活など親としても役割が多い中で子どもへ目が届かなくなる事が考えられるが、地域の大人が子どもたちを見守るような環境が出来れば親も安心できる。
- ・父子家庭。ひとり親家庭、特に母子家庭は家計が苦しい。子どもの進学もハードルが高い。入居したい市営住宅に空きが無い場合、子どもを転校させて入居するか、空きのある市営住宅に入居し、子どもが現在通っている学校まで送迎するか、のどちらかになる。空き家を市が借り上げ、ひとり親家庭用住宅として貸し出すようなことを検討してみてもどうか。
- ・子育てに関わる予算をもっと手厚くして欲しい。
- ・保育料を年収だけで決めないで欲しい。
- ・住民税も、子どもの人数により減額されるような配慮があればありがたい。
- ・川岸には子どもを遊ばせるところが少ないと感じる。遊具みたいなものがないので、結局こどものくにや、辰野町のほたる童謡公園まで行っている。

- ・(東京と比べて)岡谷は子育てが充実していると思う。子どものくには広い。東京ではこれよりもっと狭いところに多くの子どもたちがいる。商業施設等に有料で遊ぶところもあるが、すごい並んで利用する状態。
- ・子どもにはいろんな経験をさせたい。長野県に来て、キャンプやアウトドアによく行くようになり、子どもも新鮮に感じており、楽しんでいる。車で 30 分程度で川や山がある場所に行けるのは良いと思う。
- ・保育園の一日体験みたいなものがあればよい。事前に保育園の体験が出来れば、預けるときも良いと思う。
- ・子育ても充実していると思う。こどものくにや、輝く子育て支援学級、あやめ保育園のパンダ組など。
- ・輝く子育て支援学級のような仲間作りの場所、子どもを託児に預けて、親がリフレッシュできる場所があるのは本当にありがたい。基本は親子で過ごす日が圧倒的に多いので、外に交流を持てるのが良い。
- ・あやめ保育園のパンダ組にも行っているが、未就園児が行けるということをママさんたち知らないのでは？私も去年の湊公民館の輝く子育て支援学級に参加して、みなと保育園を見学したから知ることが出来た。
- ・湖畔公園は 3 歳やそれ以上の子どもには良い公園だが、1 歳とか 2 歳とかが遊べる公園があれば良いと思う。
- ・仕事復帰したあとの子育てが不安。保育園の送り迎えが出来るような時短勤務等できるか、病気のときは仕事を休むことができるか、病気の子どもを託児できるところがあるかなど。サポート体制が整っていれば不安も解消できる。
- ・ハードルの低い、気軽に子どもを預けられる民間の託児施設があればよい。(数時間だけでも、当日突然でも預けられるところ)
- ・公立の保育園等でもサービスはあるが、ハードルが高い。(あまり気軽に預けることができない)
- ・岡谷市は「こどものくに」があるし、支援教室や相談場所も多くあり、子育て支援は手厚い。
- ・育園や小学校への給食を、もっと食育を重視したものにしてほしい。岡谷市の給食センターでは遺伝子組み換え食品を使っていると聞いたので、不安に思っている。子どもの口に入るものなので、安さ重視にするのはやめて、地元の食材を給食に一部だけでも使ったりするなど、安全や食育に力を入れてほしい。
- ・最近、新潟市であったように子どもが狙われる悲惨な事件が発生していて不安なので、登下校時の見守り体制をきちんと構築してほしい。
- ・小学校では、働き方改革のため、これまでより早く門を閉めたりするので校庭が放課後あまり使えなくなるという話もある。子どもたちの遊ぶ場所が少なくなっていくのはかわいそうなので、もっと、親も子どもも安心して、子どもだけで遊べるような場所が必要。

- ・登下校時に事件や事故に巻き込まれないか不安なので、スクールバスを、低学年だけと言わず、高学年まで導入してほしい。
- ・保育園幼稚園以外でも、働いているお母さんのために今より気軽に・簡単に子どもを預けることができるような、保育士が常駐している託児サービスがあったらいい
- ・岡谷市は子育て中の人にむけた企画や、施設が充実しているので、今のところ困りごとは特にない。
- ・不安になったことが出来たときに、気軽に「こういうときはどうしたらいいですか」となんでも相談できるような場所や環境が構築されていれば、もっと安心できる。
- ・「こどものくに」をはじめ子育て施設やサービスが充実していて、子育て中のひとにやさしいまち。子育てパスポートを使える店もたくさんあり、助かっている。
- ・妻も働きたいが延長保育をやっているところが少ない。
- ・今はどっこも共働き。昔とは違い今はお金のかかる時代
- ・保育園における保護者会への負担があまりにも大きい。本来、保育園がすべきことまで、保護者会の仕事にされている。
- ・親世代との同居は、自分、相手方に関係なく、したくない。自分たちの生活が見えない距離の近居が良い。(車で 10 分程度)

③子育て世代の就労環境に関すること

- ・男性も育休を取得しやすくなれば良いと思うが、自分の職場で考えると、仕事のカバーや代替社員の確保などの面で難しいと思う。
- ・育休を取得する上で、職場の理解はもちろんのこと、職場内の人間関係も大きく影響する。
- ・子どもを預けて仕事することについて、仕事をしなくて良いのであれば、したくない。
- ・3歳まで育休取得できれば、安心してフルタイムで働ける。
- ・今3人目を妊娠中で、その子が2歳くらいになったら、働きたい。再就職したいが、岡谷市で見つけられるか不安。保育園が見つかるか、6年ぶりに果たして働けるのか、今から不安ではある。休みがとりやすいなど働きやすい職場だと助かる。
- ・6ヶ月の子が2歳になるタイミングで職場復帰予定。働く女性が多い職場で、働く環境が改善されているので、特に不安はない。
- ・子どもが10月で1歳になるタイミングで職場復帰予定。夫も同じ職場で働いているので休みもとりやすく、理解ある職場である。
- ・現在育休中であるが、期間は1年なので、そのまま退職予定。3年くらい育児休暇が取得できれば働き続けられる。
- ・以前はパートタイムで働いていた。夫が転勤族であるため、フルタイムで働くことは考えていないが、子どもが2、3歳になったら働きたい。
- ・育休中、子育てが落ち着き次第、復帰したい。

- ・育児が落ち着いたら働きたいと思うが、正規よりは、パートなどが良いと思っている。働くことは、どちらかという息抜きとこづかい稼ぎ。
- ・育児のために離職。専業主婦だが、子育てが一息ついたら働きたい。
- ・製造業でも働いてみたい。興味はあり、抵抗はない。
- ・ずっとパートをしており、結婚を機に離職。今は子ども 2 人だが、3 人目まで考えたい。その後は働きたい。
- ・製造業でも働いてみたい。
- ・以前は託児所で働いていたが、復帰するつもりはなく、産休もとっていなかったが、実際に子育てする中で自分から戻りたくなかったこともあり、今は復帰して子どもを預けながら働いている。親がリフレッシュできる場所は必要だと思う。
- ・子どもが保育園に入ったら仕事を始めたいと思うが、子どもが体調を崩したときなどを考えて、お休みがとりやすい職場があるかどうか不安。
- ・できれば短時間勤務と託児ができることを条件に就職したいが、両方条件が揃っている就職先がなかなか無い。ハローワークで探しても漠然としているので、もしそうした企業があるのなら、行政が積極的に紹介してくれればと思う。
- ・働くうえで不安に思うことは、子どもが病気をしたときにお休みがとれるかどうか。行政に望むことは一時保育の枠を増やしてほしいと思う。
- ・働く環境があっても、保育料にお金がかかる。保育園に預けて、働いても結局保育料にお金がかかるのでどちらが良いか。
- ・子どもが保育園入園前には職場を探したい。

④少子化について

- ・人口を増やすためには、結婚・妊娠・出産が不可欠であるが、離婚数が増えているので結婚しない、働き続けたいというニュースを見て、共感した。
- ・将来を考えれば、社会保障や産業の面で、人口は増えた方が良い。
- ・出生数を増やすなら、保育料の減額や出産祝い金などの経済的支援の充実を図ればよいのではないか。
- ・出生数を増やすには、未満時保育料が高いと思うので、もっと利用料金が低ければ良いのではと思う。仕方ないことかもしれないが、働いてもお給料が保育料にほとんど消えてしまうお母さん方もいると思うので、何とかならないかなと思う。
- ・保育料が上の子ども入園していないと 2 人目の保育料が安くならない。2 人目を生んだなら、1 人目と年が離れていても、保育料が安くなるようにしてほしい。
- ・周囲からはもっと子供を生んでほしいとの声も聞こえるが、金銭面の負担などを考えると難しい。
- ・年金などの制度のことを考えると子供は増えたほうがいいが、子育てや金銭面での負担を考えると難しい。

- ・(二人目について) 経済的な面と自分の体力的な面は不安がある。特に産後は体力的にも大変だろうなと思う。
- ・小学生の息子がいるが、地域別の子ども数に幅があり、学区ごとの人数がとても偏っていると感じる。同じ市内でも子どもの環境が全く違うので、あまりよくないことだとおもう。
- ・出生数を増やすにはなによりお金が必要。いろんなイベントをやるよりはお金の補助をするようなことをしたほうがよい。市というよりは国でなんか施策を。
- ・職場などで、結婚や出生のことなどを聞けない(聞きにくい)風潮(直ぐ〇〇ハラスメントとなる)。そういった話ができれば、世話を焼くこともできるが、今はまったくできない。
- ・希望は 2 人。お金がなければ 1 人
- ・出産、子育てに関する不安の最たるものは経済的問題。

⑤保健・福祉医療分野に関すること

- ・岡谷市民病院ができて、救急医療体制は充実したと思う。
- ・介護事業所が少ない。
- ・介護する人、介護される人、それぞれが住みやすいまちづくりをして欲しい。
- ・病院が混んでいて利用しづらい。

⑥教育・文化に関すること

- ・カノラホールは岡谷市にとって貴重な財産。さらに有効活用して欲しい。
- ・小井川小学校は、音楽会をカノラホールで行っている。子どものうちから、大きな舞台上で合唱・合奏できることは大変良いことであり、人を育てることに繋がる。有名アーティストを呼ぶだけでなく、様々な活用方法を検討して欲しい。
- ・スケートの授業が減ってしまったのは残念。市としてスポーツを推奨してくれるのは子どもにとって良い。

⑦産業振興に関すること

- ・岡谷市はレイクウォークができて以前よりは買い物などで便利になったと感じるが、もう少しいろいろなお店が増えると嬉しく思う。
- ・飲食店が少ない。気軽に飲める場所。
- ・両親は駅前や中央通がさびしくなったと(言っている)。

トナー、オリンパス、杏林などの大企業が市内から撤退。地域でも EPSON の主体は塩尻。人口増加を図るためにも、働く場所の確保は重要。IT 系企業の誘致は将来的に望ましい。

- ・この先求められる職業は「クリエイティブ（創造的）」な仕事。そこを見据えた取り組み(教育や企業誘致)が必要。
- ・買い物も、レイクウォークができたので困っていない。駐車してスッと店に入れるようなところがもっと増えればいい。
- ・基幹産業である工業の振興は大切ではあるが、「まちの賑わい」という面では、外(市民や地域住民)から効果が判り難い。
- ・レイクウォーク岡谷の開店により、「便利なまち」、「買い物環境の良いまち」になりつつある。これは「すみやすさ」につながる事。
- ・「買い物するなら岡谷」＝「商売するなら岡谷」という流れを作り出すチャンス。行政中心の商業振興は難しい。商業者自らが動く(動き出す)支援体制が必要。
- ・大型店との共存・共栄を図っていくためにも、商業振興に取り組むには今がチャンス。第 5 次岡谷市総合計画の前期で注力してもらいたい。
- ・レイクウォークが出来て、まちなかに賑わいを感じられるようになった。その分、余計に駅前の寂しさが際立つ。

⑧生活環境・防災に関する事

- ・災害が発生したときに、どのように対処するか。災害は起きるものとして、減災対策をしっかり行って欲しい。
- ・自然の景観は素晴らしいと思う。住む環境としても良く、住みやすいとは思っている。
- ・車で移動している時は感じないが、ベビーカーを押すと道のデコボコが多い事を感じる。
- ・両親が持つ土地に家を建てたが、岡谷は土地が高いと思う。
- ・今回、夫の実家がある岡谷に土地を購入して家を建てたが、自分の実家がある辰野町とどちらにするか迷った。やはり岡谷・下諏訪は土地が高いと感じる。そういった土地の取得に対する助成があれば嬉しい。

⑨都市整備に関する事

- ・岡谷市は施設が整っている。
- ・塩尻市から引っ越してきて 3 年目。岡谷市は道が狭く、主要道路がよくわからない。一方通行の道が多い。湖畔公園など歩いて散歩するにはいい場所がある。
- ・コンパクトだともう
- ・湖畔公園の駐車場が多く利用しやすい。
- ・諏訪湖の周りなどは環境も良いが、せっかく公共施設があっても、道中が整備されていないので、子どもだけで歩いていかせる事ができない。
- ・岡谷は住みやすいと思う。近くにレイクウォークやスーパーがあり、買い物が便利。出身は辰野町だが、岡谷のほうが大変便利。

- ・小さい公園があちこちにあり、整備されているので、子どもを遊ばせやすくよいと思う。
- ・子育て施設については十分充実している。

⑩全般的事項・岡谷市のイメージに関すること

- ・ずっと岡谷市に住んでいるので、岡谷市のイメージと言われても特にピンと来ない。いいところも悪いところも、他と比べたことがないのでわからない。でも、これからも住み続けたい。
- ・岡谷市は土地や保育園・幼稚園の費用など、いろいろなものが高いイメージ
- ・シルクファクトやイルフ童画館など聞いたことはあるが、行ったことがない。こどものくいで、気軽にふれあえるようなコラボイベントなどしてくれれば良いと思った。
- ・何か特別に改善してもらいたい点もなく、今あるものを大切にしてやっていきたいと思う。概ね現状で満足している。
- ・市役所に相談に来て、初めて知る支援メニューもある。広報(PR)されていると思うが、さらにPRを。
- ・美術館・博物館は、いい施設がたくさんある。つつじ祭りや出早の片栗すばらしいと思うので、子どもに見せたい。
- ・全体的に、岡谷市は綺麗な施設がとても多く、充実している。

⑪将来に向けて

- ・子どもには一度外を見て欲しいとも思っている。戻って来たときに受け入れてくれる、敷居の低い集まりの場を作っていくことが大事だと思う。
- ・「子どもが戻ってきたいと思う まちづくり」が大切。住みやすい、税金が安い、医療が充実(岡谷市民病院の存在は大きい)、活気のある商店街など。
- ・歩道が狭く、見通しも悪いところが多いので、子どもの通学の安全のために、通学路だけでも道を整備してほしい。夕方暗くなる場所も多いので、街灯を増やしてほしい。
- ・市内に習い事をできる場所があまりないと思うので、子どもが将来やりたいことができたときに、気軽に習い事を選べる・できる環境が市内で整っているとよいとおもう。
- ・都会にいったら帰ってこない。戻ってくるまちづくりを。若者向きのなにかがあれば。
- ・将来は戻ってきてもらいたい=働く場所を。
- ・他に魅力があるから出て行ってしまう。そこに勝つことは難しいからお金を落としてもらえるまちづくりはどうか。祭りが盛っているところは若者多い。
- ・岡谷に目を向けてもらえるような、何かに特化したまちづくり
- ・若者に優しいまち。生活していく上で、できるだけお金のかからないまち。
- ・岡谷はやはり工業のまち。まちの基幹産業として注力していくべき。
- ・若い人達の参画。若い人達も、何かしらの意見は持っている。その考えを上手く引き出す工夫を。

- ・ないものねだりをしてもしようがない。今あるものの有効活用を。
- ・人口減少は避けられない現実。楽観的に見ない方が良い（悲観的に考える）。人口が 4 割減少してもやっていけるまちづくりを。
- ・市町村合併も避けて通れない。次の 10 年では、もうひとつのまちづくりの在り方として、何らかの取り組みが必要ではないか。（表向きには出さなくても。）
- ・人口減少に歯止めを掛けるためには、出生率の向上や健康寿命の延伸、移住などの取り組みがあると思う。どれも大切なことだが、「あれも、これも」でははく「選択と集中」で取り組んで欲しい。
- ・起業しやすいまちとしての充実を。
- ・教育のなかで、子どもや親に対して、将来、岡谷に戻ってくるような教育（岡谷に対する愛着の醸成）が必要。
- ・岡谷市民としての誇りを持つことが、地域としての強みになる。岡谷に住んでいることの「誇り」や「愛着」を身に付けていくための教育や、岡谷に愛着を持っている人が、その想いを子どもたちに伝える場づくりが大切ではないか。
- ・大学進学等で岡谷を離れ、将来に対して多様な選択肢を手に入れたときに、「ふるさと岡谷」が切り捨てられてはいないか。選択肢の中で、岡谷がどのようにして勝ち残るか、考えていかなければならない。
- ・岡谷に愛着を持った人たちが市内企業に就職し集団となれば、その企業自体が岡谷に愛着を持つことになり、企業留置にも繋がる。
- ・これまで「ものづくりのまち」としてやってきたのだから、今後も「ものづくりのまち」であるべき。そのなかで、「クリエイティブなことや創造的なことが実現できそうなまち」として選んでもらえるような取り組みを期待したい。
- ・東京というフィルターを通らない「Made in OKAYA」ブランドづくり。
- ・国全体として人口が減少するなか、人口増で勝負しても勝てない。外から持ってくるのは「お金」。いかに外貨を稼ぐか。
- ・「みんな」は、ひとりひとりの集合体。あるべき姿は「ひとりひとりが輝く」ことであり、「ひとりひとりの輝ける場」が必要。
- ・まちなかをたくさんの方が歩いていることだけが「賑わい」ではない。まちとしての「躍動感」があることも「賑わい」の一つ。

⑫子どもに残したい、岡谷の良いところ

- ・豊かな自然環境、やまびこ公園
- ・先日の「広報おかや」に、公共施設のことについて記事が出ていたが、これ以上、建物はつくらない。不要な建物は取り壊す。跡地は「まちなかの公園」として活用すればよい。
- ・ララオカヤも取り壊し、駅前に大きな公園をつくる。

- ・子どもたちも将来、自分達と同じように暮らせる岡谷市であって欲しい。
- ・自然が多いところは岡谷市のいいところである。
- ・諏訪湖、各所の公園、博物館・美術館など、子どもと一緒に楽しめるところがたくさんある。
- ・鶴峯公園のつつじは素晴らしいと思うので、もう少し活用してほしい。(現在は、つつじの時期以外は閑散としていてもったいない)